

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-30483 (P2019-30483A)

【公開日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2017-153028 (P2017-153028)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

遊技媒体の通過を検出可能な検出手段と、

発光可能な第 1 発光部と第 2 発光部とを含む複数の発光部と、

を備え、

前記検出手段は、前記第 1 発光部と前記第 2 発光部との間に位置するように設けられ、

前記検出手段により遊技媒体が検出されにくい第 1 状態と前記検出手段により遊技媒体が検出されやすい第 2 状態とに制御可能であり、

前記第 1 発光部及び前記第 2 発光部は、前記第 2 状態において前記第 1 状態よりも高い輝度で発光可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

前記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技媒体（例えば、遊技球 P）の通過を検出可能な検出手段（例えば、第 1 カウントスイッチ 2 3）と、

発光可能な第 1 発光部（例えば、第 1 発光部 Z 1）と第 2 発光部（例えば、第 2 発光部 Z 2）とを含む複数の発光部と、

を備え、

前記検出手段は、前記第 1 発光部と前記第 2 発光部との間に位置するように設けられ（例えば、第 1 発光部 Z 1 と第 2 発光部 Z 2 との間に挟まれて第 1 カウントスイッチ 2 3 が設けられる。図 1 0、図 1 1 参照。）、

前記検出手段により遊技媒体が検出されにくい第 1 状態（例えば、大入賞口の閉鎖状態

）と前記検出手段により遊技媒体が検出されやすい第２状態（例えば、大入賞口の開放状態）とに制御可能であり、

前記第１発光部及び前記第２発光部は、前記第２状態において前記第１状態よりも高い輝度で発光可能である（例えば、第１ＬＥＤ７４１及び第２ＬＥＤ７４２の第３発光態様は、各ＬＥＤの第１発光態様及び第２発光態様に比べて高い輝度となっている。図１４参照。）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、演出効果を高めることができる。